

## 総会

配布：一般

2018年4月16日

### 第72会期

議事日程議題 11

#### 2018年4月12日に総会により採択された決議

[主要委員会への付託なし (A/72/L.43 and A/L.43/Add.1)]

#### 72/272. 世界自転車デー

総会は、

2005年9月16日の60/1と2010年9月22日の65/1の総会諸決議において宣言されたように、ミレニアム開発目標の実現に対するスポーツの貢献を認識し、

持続可能な開発のための2030アジェンダ<sup>1</sup>において、とりわけ、スポーツが持続可能な開発のための重要な実現要因として認められたことを想起し、

2030アジェンダの持続可能な開発目標と具体的目標を含む、国際的に合意された開発目標の達成に対して貢献する自転車の可能性また平和の文化を最大化するため、あらゆるレベルで、マルチ・ステークホルダー・パートナーシップを含む、取組を強化しそして更に調整する必要性を認識し、

国際年の宣言に関する1998年12月15日の53/199と2006年12月20日の61/185の総会諸決議、および国際年と記念祭に関する1980年7月25日の経済社会理事会決議1980/67、とりわけ

---

<sup>1</sup> 決議70/1。

宣言のための合意された基準に関するその付属文書の第1項から第10項を、並びにその計画と資金調達のための基本的な準備が為される前に国際デーまたは年が宣言されるべきでないことを述べている第13および14項を再確認し、

2016年10月17日から20日までキトで開催された、居住および持続可能な都市開発に関する国際連合会議（ハビタットⅢ）において採択されたニュー・アーバン・アジェンダ<sup>2</sup>を想起し、

2世紀の間使われてきている、また環境への責務と健康を促進している、簡単で、手ごろで、信頼でき、低公害のそして環境的に適した移動の持続可能な手段である、自転車の唯一性、長く使われていることそして多用途性を認め、

自転車と使用者との間の相乗効果が、創造性と社会関与を促進しまた使用者に地域環境の直接の意識を与えていることを認識し、また自転車は、開発のための道具としてまた単に移動だけの手段ではなく教育、健康管理とスポーツに対するアクセスの手段として役に立つことができることを認識し、

自転車は、持続可能な輸送の象徴でありまた持続可能な消費と生産を促進するための積極的なメッセージを伝え、そして環境への積極的な影響を有していることを強調し、

サイクリングを含む、スポーツと体育を通じた社会開発を促進することにおいて、要請に基づいて、加盟国を支援することにおける、国際連合制度とその国別計画の役割を認め、

平和と開発、環境の保存、制度開発および物的インフラや社会的インフラを促進するための自転車ラリーの準備のための資金調達計画における生産的な官民連携の極めて重要な役割を強調し、

主要な国際的なまた地元のサイクリング大会は、平和、相互理解、友好、寛容およびあらゆる種類の差別を承認しがたいことので精神で準備されるべきことにまたそのような催し物の統一するまた怒りを鎮める性質は尊重されるべきことに留意し、

---

<sup>2</sup> 決議 71/256、添付文書。

1. 6月3日を世界自転車デーと宣言することを決定する。

2. 全ての加盟国、国際連合制度の諸機関およびその他の関連する国際機構、国際的な、地域的なそして国内のスポーツ組織、非政府組織と民間部門を含む市民社会、およびその他の全ての関連する利害関係者に対し、同世界デーを祝いそしてその認識を促進するため、世界自転車デーを祝うことにおいて協力することを招請する。

3. 加盟国に対し、分野横断的な開発戦略において自転車への特別な注意を向けることそして適切な場合には、国際的な、地域的な、国内のまた地方の開発政策や計画に、自転車を含めることを奨励する。

4. 加盟国に対し、より広範な健康の成果、とりわけケガや非感染性疾患の予防を目的として、とりわけ歩行者の安全とサイクリングの機動性を積極的に保護しそして促進するための政策や措置を通して、道路の安全性を改善しそしてそれを持続可能な機動性と輸送のインフラ計画や設計に統合することをまた奨励する。

5. 利害関係者に対し、持続可能な開発を促進すること、子どもと若者のための、体育を含む、教育を強化すること、健康を促進すること、疾病を予防すること、寛容、相互理解と尊敬を促進することそして社会的包摂と平和の文化を促進することの手段として、自転車の使用を強調しそして先に進めることを奨励する。

6. 加盟国に対し、社会の全ての構成員の中に自転車を促進するための最善の慣行と手段を取り入れることを奨励し、そしてこれに関連して、肉体的および精神的健康並びに福祉を強化することまた社会におけるサイクリングの文化を策定することの手段としての国のまた地方のレベルでのサイクリングを準備する自発的活動を歓迎する。

7. 事務総長に対し、全ての加盟国、国際連合システムの諸組織の注意をこの決議に向けることを要請する。

8. 本決議の実施から生じる可能性のある全ての活動の経費は、自発的拠出金で支払われるべ

きことを強調する。

第82回本会議

2018年4月12日